

2024年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）



2024年5月13日

上場会社名 株式会社ツバキ・ナカシマ 上場取引所 東
コード番号 6464 URL <https://www.tsubaki-nakashima.com/jp/>
代表者（役職名）取締役兼代表執行役社長CEO（氏名）廣田 浩治
問合せ先責任者（役職名）取締役兼執行役副社長CFO（氏名）館 尚嗣 (TEL) 06-6224-0193
四半期報告書提出予定日 2024年5月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	19,966	6.0	1,507	△3.8	1,098	△14.7	906	38.4	906	38.4	5,224	170.4
2023年12月期第1四半期	18,837	—	1,567	—	1,286	—	655	—	655	—	1,931	—

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
2024年12月期第1四半期	22	81	22	75
2023年12月期第1四半期	16	49	16	46

(注) 当第1四半期連結会計期間より、ボールねじ及びボールウエイの製造及び販売事業を非継続事業に分類しております。これにより、売上収益、営業利益、税引前利益は非継続事業を除いた継続事業の金額を表示し、四半期利益及び親会社の所有者に帰属する四半期利益は、継続事業及び非継続事業の合算を表示しています。なお、前年同四半期連結累計期間についても同様に組み替えて表示しているため、これらの対前期増減率は記載しておりません。

(参考) EBITDA 2024年12月期第1四半期 2,319百万円 (2.1%増) 2023年12月期第1四半期 2,270百万円
EBITDA=営業利益+減価償却費及び償却費

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	177,826	59,409	59,373	33.4
2023年12月期	166,078	54,142	54,107	32.6

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年12月期	—	13.00	—	0.00	13.00	—
2024年12月期	—	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	—	35.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,300	0.3	6,860	36.7	5,650	32.4	3,960	—	99.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

ボールねじ及びボールウェイの製造及び販売事業を非継続事業に分類したことに伴い、売上収益、営業利益、税引前利益の予想値及び対前年増減率を、非継続事業を除いた継続事業の予想へ修正しております。継続事業の当期の連結業績予想の修正はございません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) ー、除外 1社(社名) 椿鋼球株式会社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期1Q	41,599,600株	2023年12月期	41,599,600株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年12月期1Q	1,816,858株	2023年12月期	1,871,615株
-------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年12月期1Q	39,735,807株	2023年12月期1Q	39,727,985株
-------------	-------------	-------------	-------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	3
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

国内は、景気の改善が全般的に足踏み状態が続いております。自動車産業では、品質不正による一部メーカーの生産停止や、それに伴い自動車向けに部品を供給する企業からの受注が減少しております。この生産停止は既に解除され、一時的な下押し要因が解消に向かうと期待されるものの、物価上昇による需要の減少、コストの増加、人手不足の深刻化等懸念が重荷となっております。海外では、アメリカが金融引き締め継続にも関わらず堅調な労働市場を背景に経済が底堅い状況にあります。ドイツの景気減速が重しとなり欧州圏の景気は低調であり、中国も不動産市場の低迷と消費者心理の低下を背景に不況が継続しております。更に、中東情勢の状況如何では世界的に景気の下振れリスクとなる可能性があり、動向を注視しております。

当社グループの2024年12月期第1四半期の業績は、ボールねじ及びボールウェイの製造及び販売事業を非継続事業に分類したことに伴い、非継続事業を除いた継続事業の数値を中心に報告いたします。

当第1四半期連結累計期間の売上収益は、プレジジョン・コンポーネントビジネスの主要製品が日本では一部メーカーの生産停止影響を受け減少したものの、為替円安影響等あり、前年同四半期比6.0%増の19,966百万円となりました。利益面につきましては、コスト改善の効果が見られた一方で、売上減少に伴う粗利益減や、原材料価格転嫁のタイムラグ、人件費の上昇等により、営業利益は前年同四半期比3.8%減の1,507百万円となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同四半期比38.4%の906百万円であります。

セグメント業績につきましては、従来「プレジジョン・コンポーネントビジネス」「リニアビジネス」の2区分を報告セグメントとしておりましたが、リニアビジネスのボールねじ及びボールウェイの製造及び販売事業を非継続事業に分類したことに伴い当第1四半期連結会計期間より「プレジジョン・コンポーネントビジネス」の1区分を報告セグメントとすることに變更しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ11,748百万円増加し177,826百万円となりました。これは、主に現金及び現金同等物が4,039百万円増加し、また、ボールねじ及びボールウェイの製造及び販売事業の譲渡に関する株式譲渡契約が締結された事に伴い譲渡が見込まれる資産を売却目的で保有する資産3,298百万円に計上したことにより流動資産が8,124百万円増加したことによります。

負債につきましては、前期末に比べ6,481百万円増加し118,417百万円となりました。これは、主に非流動負債の社債及び借入金が増加したことによります。

資本は、前期末に比べ5,231百万円増加し59,373百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定などのその他の資本の構成要素が4,091百万円、利益剰余金が906百万円増加したことによります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第1四半期連結累計期間の各活動におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、939百万円の増加となりました。主な要因としては、税引前四半期利益1,098百万円、減価償却費及び償却費816百万円などの資金の増加要因があった一方で、棚卸資産の増加327百万円、営業債務及びその他の債務の減少569百万円などの資金の減少要因がありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出を主な要因とし、938百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入3,960百万円を主な要因とし、3,888百万円の増加となりました。

これらに当第1四半期連結累計期間中のUSドル高及びユーロ高を主な要因とする625百万円の換算差額等を加算した結果、当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、27,517百万円と前連結会計年度末と比べ4,514百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ボールねじ及びボールウェイの製造及び販売事業を非継続事業に分類したことに伴い、2024年12月期通期連結業績予想における売上高、営業利益および税引前利益は、非継続事業を除いた継続事業の金額として表示し、2024年2月9日公表の通期連結業績予想を修正いたします。但し、継続事業の当期の連結業績予想の修正はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、当社の完全子会社である椿鋼球株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要性のある会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年 3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	23,003	27,042
営業債権及びその他の債権	22,589	22,874
棚卸資産	36,936	37,287
その他の流動資産	1,697	1,848
小計	84,225	89,051
売却目的で保有する資産	—	3,298
流動資産合計	84,225	92,349
非流動資産		
有形固定資産	34,226	34,442
無形資産及びのれん	39,631	40,886
その他の投資	259	281
繰延税金資産	2,690	2,999
その他の非流動資産	5,047	6,869
非流動資産合計	81,853	85,477
資産合計	166,078	177,826
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	6,949	6,667
社債及び借入金	15,974	16,068
未払法人所得税等	1,685	1,504
その他の流動負債	7,428	8,334
小計	32,036	32,573
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	—	740
流動負債合計	32,036	33,313
非流動負債		
社債及び借入金	74,383	80,045
退職給付に係る負債	2,256	1,805
繰延税金負債	1,403	1,389
その他の非流動負債	1,858	1,865
非流動負債合計	79,900	85,104
負債合計	111,936	118,417

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年 3月31日)
資本		
資本金	17,117	17,117
資本剰余金	11,617	11,502
自己株式	△2,616	△2,458
その他の資本の構成要素	12,780	16,871
売却目的で保有する処分グループに関連するその他の資本の構成要素	—	226
利益剰余金	15,209	16,115
親会社の所有者に帰属する持分	54,107	59,373
非支配持分	35	36
資本合計	54,142	59,409
負債及び資本合計	166,078	177,826

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年 1月 1日 至 2023年 3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 3月31日)
継続事業		
売上収益	18,837	19,966
売上原価	15,319	16,407
売上総利益	3,518	3,559
販売費及び一般管理費	1,952	2,073
その他の収益	33	27
その他の費用	32	6
営業利益	1,567	1,507
金融収益	21	554
金融費用	302	963
税引前四半期利益	1,286	1,098
法人所得税費用	594	142
継続事業からの四半期利益	692	956
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益 (△損失)	△37	△50
四半期利益	655	906
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	655	906
非支配持分	—	—
四半期利益	655	906
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	36	8
純損益に振り替えられない項目の合計	36	8
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	1,460	4,187
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△190	48
ヘッジコスト	△30	75
純損益に振り替えられる可能性のある項 目の合計	1,240	4,310
税引後その他の包括利益	1,276	4,318
四半期包括利益	1,931	5,224

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年 1月 1日 至 2023年 3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 3月31日)
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,930	5,223
非支配持分	1	1
四半期包括利益	1,931	5,224
1 株当たり四半期利益		
基本的 1 株当たり四半期利益(円)		
継続事業	17.43	24.06
非継続事業	△0.94	△1.25
基本的 1 株当たり四半期利益	16.49	22.81
希薄化後 1 株当たり四半期利益(円)		
継続事業	17.40	24.00
非継続事業	△0.94	△1.25
希薄化後 1 株当たり四半期利益	16.46	22.75

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の為替換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2023年1月1日 残高	17,117	11,519	△2,616	0	△3	6,381	△154
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	36	1,459	△190
四半期包括利益	—	—	—	—	36	1,459	△190
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	29	—	—	—	—	—
新株予約権の失効	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	29	—	—	—	—	—
2023年3月31日 残高	17,117	11,548	△2,616	0	33	7,840	△344

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	ヘッジコスト	合計				
2023年1月1日 残高	201	6,425	17,651	50,096	35	50,131
四半期利益	—	—	655	655	0	655
その他の包括利益	△30	1,275	—	1,275	1	1,276
四半期包括利益	△30	1,275	655	1,930	1	1,931
剰余金の配当	—	—	△675	△675	—	△675
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	29	—	29
新株予約権の失効	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	△675	△646	—	△646
2023年3月31日 残高	171	7,700	17,631	51,380	36	51,416

(単位：百万円)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の為替換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2024年1月1日 残高	17,117	11,617	△2,616	0	22	12,774	△191
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	8	4,186	48
四半期包括利益	—	—	—	—	8	4,186	48
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	158	—	—	—	—
株式報酬取引	—	△115	—	—	—	—	—
売却目的で保有する処分グループに関連するその他の資本の構成要素	—	—	—	—	—	△226	—
新株予約権の失効	—	—	—	△0	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△115	158	△0	—	△226	—
2024年3月31日 残高	17,117	11,502	△2,458	0	30	16,734	△143

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		売却目的で保有する処分グループに関連するその他の資本の構成要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	ヘッジコスト	合計					
2024年1月1日 残高	175	12,780	—	15,209	54,107	35	54,142
四半期利益	—	—	—	906	906	0	906
その他の包括利益	75	4,317	—	—	4,317	1	4,318
四半期包括利益	75	4,317	—	906	5,223	1	5,224
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	158	—	158
株式報酬取引	—	—	—	—	△115	—	△115
売却目的で保有する処分グループに関連するその他の資本の構成要素	—	△226	226	—	—	—	—
新株予約権の失効	—	△0	—	—	△0	—	△0
所有者との取引額等合計	—	△226	226	—	43	—	43
2024年3月31日 残高	250	16,871	226	16,115	59,373	36	59,409

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年 1月 1日 至 2023年 3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,286	1,098
非継続事業からの税引前利益(△損失)	△57	△72
減価償却費及び償却費	759	816
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△48	△35
受取利息及び受取配当金	△12	△54
支払利息	282	346
為替差損益(△は益)	35	△503
固定資産売却損益(△は益)	△8	△5
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	186	278
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,043	△327
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△656	△569
その他	△851	878
小計	△127	1,851
利息の受取額	11	54
配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△170	△255
法人所得税等の支払額	△740	△711
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,026	939
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,085	△924
有形固定資産の売却による収入	8	7
無形資産の取得による支出	△6	△21
その他	0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,083	△938
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	3,960
リース負債の返済による支出	△110	△113
配当金の支払額	△626	△1
自己株式の売却による収入	—	42
財務活動によるキャッシュ・フロー	△736	3,888
現金及び現金同等物に係る換算差額	165	625
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,680	4,514
現金及び現金同等物の期首残高	24,119	23,003
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,439	27,517

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(ボールねじ及びボールウェイの製造及び販売事業を非継続事業に分類したことによる変更)

当社は、2024年2月9日開催の取締役会において、ボールねじ及びボールウェイの製造及び販売事業を、会社分割(簡易新設分割)により設立するTNリニアモーション株式会社に承継させ、また、本会社分割の承継資産に当社の子会社であるTN TAIWAN CO., LTD.の株式を含めることにより同社を新設会社の子会社とした上で、新設会社の株式の全てをミネベアミツミ株式会社に譲渡することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結しました。

これに伴い、ボールねじ及びボールウェイの製造及び販売事業を非継続事業に分類しています。この結果、当第1四半期連結累計期間の表示形式に合わせ、前第1四半期連結累計期間の要約四半期連結包括利益計算書、要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び関連する要約四半期連結財務諸表注記を一部組替えて表示しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

(1) セグメント区分の基礎

当社グループは事業を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「プレジジョン・コンポーネントビジネス」を報告セグメントとしております。「プレジジョン・コンポーネントビジネス」は、精密ボール、ローラー、リテーナー及びシートメタル部品の製造販売を行っております。

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているセグメントです。

当社は、2024年2月9日開催の取締役会において、ボールねじ及びボールウェイの製造及び販売事業を、会社分割(簡易新設分割)により設立するTNリニアモーション株式会社に承継させ、また、本会社分割の承継資産に当社の子会社であるTN TAIWAN CO., LTD.の株式を含めることにより同社を新設会社の子会社とした上で、新設会社の株式の全てをミネベアミツミ株式会社に譲渡することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結しました。これに伴い、ボールねじ及びボールウェイの製造及び販売事業を非継続事業に分類しています。その結果、当社グループは、従来「プレジジョン・コンポーネントビジネス」「リニアビジネス」の2区分を報告セグメントとしていましたが、当第1四半期連結会計期間より「プレジジョン・コンポーネントビジネス」の1区分を報告セグメントとすることに変更しています。前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しています。また、前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間の金額から非継続事業を控除しております。

セグメント情報は要約四半期連結財務諸表と同一の会計方針に基づき作成しております。各セグメントの営業利益は税引前四半期利益に金融収益及び金融費用を加減しており、要約四半期連結包括利益計算書における営業利益と同一の方法で測定されています。

セグメント間の取引の価格は、独立第三者間取引における価格で決定されております。

(2) 報告セグメントに関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
	プレジジョン・ コンポーネント ビジネス				
売上収益					
外部収益	18,682	155	18,837	—	18,837
セグメント間収益	0	7	7	△7	—
連結収益合計	18,682	162	18,844	△7	18,837
セグメント利益	1,554	13	1,567	—	1,567
			金融収益		21
			金融費用		△302
			税引前四半期利益		1,286

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸料及び送風機の製造販売が含まれております。また、セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去等が含まれております。

当第1四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
	プレジジョン・ コンポーネント ビジネス				
売上収益					
外部収益	19,621	345	19,966	—	19,966
セグメント間収益	0	3	3	△3	—
連結収益合計	19,621	348	19,969	△3	19,966
セグメント利益	1,345	162	1,507	△0	1,507
			金融収益		554
			金融費用		△963
			税引前四半期利益		1,098

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸料及び送風機の製造販売が含まれております。また、セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去等が含まれております。